

牛白血病の牛群への侵入と感染の拡大を防ぎましょう！

病気の概要

牛白血病は、体表・外貌などの異常（体表リンパ節の腫大、頸部の膨張、皮膚の発疹等）や元気消失、削瘦等の症状を呈する届出伝染病であり、平成26年度は全国で1683戸2415頭発生しています。発生のほとんどは牛白血病ウイルスによる「成牛型白血病」です。なお、成牛型白血病は、感染してもすぐには発病せず、数か月から数年の無症状期を経てから発症する（好発年齢は4～8歳）ため、気づかないうちにウイルスが牛群内で広がっている場合があります。

感染経路

主な感染経路は感染牛血液の機械的伝播による水平感染です。通常、牛白血病ウイルスはリンパ球内にもみ存在するため、感染は血液が乾燥する前のリンパ球の伝播でのみ成立し、伝搬力はあまり強くはありません。母子間の垂直感染については確率が低いと言われてはいますが、感染した母牛の乳を子牛に与えることによっても感染が起こります。

予防・治療

本病に対する治療法はありません。抗体陽性率が高い地域からの導入時には検査を行い、その他の牛も定期的に抗体検査を実施してください。

具体的な水平感染の原因は、アブやサシバ工等の吸血昆虫や偶然健康牛の傷口に感染牛の血液が付着する他、直腸検査、除角、搾乳など、人為的操作の際の器具や衣服を介しての感染が考えられますので、これらの作業を実施するときは十分に注意をしてください。

また、垂直感染を防ぐため、感染牛の初乳や生乳は子牛に給与しないようにしてください。また、感染が確認されていなくても、念のため凍結・加熱等の措置をしてから給与してください。

家畜の病気に関するお問合せは山梨県西部家畜保健衛生所まで

電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728

夜間の連絡は・・・090-5564-1018

土日・休日の連絡・090-5564-1018 又は090-5568-0817

